



行健中学校だより

はなむけ

郡山市立行健中学校

天行は健なり

No.38 2012/3/16 (金)

第65回卒業証書授与式校長式辞「餞のことば」 校長 齋藤正徳

今年は雪の多い冬でした。それでも確実に春の息吹が感じられるこの良き日、郡山市長 原 正夫 様、郡山市議会議員高橋隆夫様、遠藤義裕様をはじめ多くのご来賓の方々、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、第65回卒業証書授与式を、挙行できますことは誠に喜びに堪えないところであります。

卒業証書を手にされた231名のみなさん、卒業おめでとうございます。

あの震災から1年、自然の力の大きさの前に予想もしなかった原発事故、未曾有の災害のため、思い切った活動ができないという日々でしたが、卒業生の皆さんは、本当によく頑張ってくれました。行健教育のキーワードである「健康」「自主」「協力」を具体的な姿として実践し、どんなときも明るく、元気で、礼儀正しい姿を見せてくれました。そして、本校の伝統と校風を高め、学習面はもちろん、部活動や生徒会活動など多方面にわたり新たな1ページを書き加えました。その皆さんが、巣立とうとしている姿を前に、熱いものを覚えずにはられません。朝の読書や集中した授業態度、友達と一緒に汗を流しカー一杯がんばった中体連やコンクールでの活躍、どれをとっても最高学年として誇れるものであります。「健翔祭」などの学校行事でも、先頭に立ってがんばりました。いつも皆さんが協力し合い、励まし合い、努力する姿を見て、頼もしく感じたものでした。この行健中学校で学んだことや友達と作ったたくさんの思い出は、大切な財産となることと思います。これまでのがんばりに対し、心から賞賛の拍手を送ります。

さて、私たち人間の歴史は、「不足」「不便」「不自由」この3つの「不」を解消するため努力してきた歴史であると言えます。それにより、社会に大きな変化をもたらし、快適な生活ができるようになったことは事実であります。しかし、それが現代に「不満」「不安」「不信」という新たな3つの「不」を生むことになったともいえます。今回の災害から私たちは、多くのことを学んだと思います。決して、便利さをだけを追求し、合理的に楽に生きることだけを求めないでください。「目的をしっかりと掲げ、実現のため、回り道でも良いから、愚直に生きてほしい。一生懸命に生きることが、皆さんを大きくしていきます。」

皆さんは、この21世紀の担い手としてかけがえのない個性を持つ尊い存在であります。それぞれの「個性」は、自分の目標に向かって継続的に努力する中でこそ磨かれます。これからの様々な出会いを大切にしながら、自らの良さと才能を伸ばし、世界にたったひとつの「個人」として光り輝く存在になることを強く願っています。

保護者の皆様には、物心両面に亘ってご支援をいただきまして、ありがとうございました。巣立ち行く卒業生とご家族のみなさまのご多幸を心より念じております。

最後に、これからも、災害による影響が長く続くことが考えられます。しかし、いつまでも立ち止まっているわけにはいきません。仲間とともに協力し合い、みなさんが、その持てる力を十分に発揮し社会に貢献することを強く願い、餞のことばといたします。

3年生が感謝の会開催!



卒業式の前日、校長先生の退職のお祝いと感謝の気持ちを表す会を、3年生が自主的に開催しました。3年生の優しさが伝わる、心温まる一場面でした。



第65回卒業証書授与式

3月13日(火)、第65回卒業式が行われました。卒業生入場から始まり、卒業証書授与での返事、式歌の歌声など、一つ一つの活動に気持ちがかもったすばらしい式でした。

中学校最大の行事を1年生から3年生が心一つにして立派に作り上げることができました。



校内美化作業

卒業式前に、全学年で校内美化作業を実施しました。下の写真は3年生の様子です。愛着のある校舎に感謝の気持ちを込めて一生懸命に清掃に取り組んでいる様子が見られました。1・2年生も、卒業式の準備など、積極的に取り組んでいました。



【来週の主な予定】

19日(月) 月12345

○学年末清掃④

20日(火) 春分の日

21日(水) 水1234木3水5

○弁当持参

○学年末清掃⑤

22日(木) 木123456

○弁当持参

○学年末清掃⑥

○県立Ⅲ期選抜

23日(金) 4時限下校:B案

○修了式 1校時

○校内美化作業

○学年集会

○県立Ⅲ期発表

○部活動など諸活動なし

○12:30 一斉下校



お知らせ 来週19日が本年度の給食最終日となります。21日(水)と22日(木)の両日は弁当日となりますのでよろしくお願いします。

卒業式「送辞」「答辞」



全校集会実施

卒業式の次の日、1校時目に全校集会を実施しました。3年生が卒業し1・2年生だけの集会となりましたが、代表者がそれぞれ自分の考えをしっかりと発表したり、校歌を一生懸命歌ったりしました。3年生から引き継いだよい伝統を守り、さらに発展させていってほしいと思います。

生徒発表

伊藤 さん

昨日、卒業証書授与式が挙行されました。私はその盛大に行われた式に参加し、卒業生の立派な姿を見て、感動した点が四つあります。

一つ目はやはり、「式歌」です。私たち在校生も卒業生のために心をこめて歌いました。しかし卒業生は、私たちとの歌とは比べものにならないくらい、自信に満ちて、美しく、私たちの心にグッとくるハーモニーを響かせて下さいました。

二つ目の点は、前生徒会長の先輩が話された「答辞」です。先輩の答辞は、聞いている私たちを引きつけるもので、まるで物語を聞いているような、そんな気持ちになりました。

三つ目は、卒業証書を授与されるときの、卒業生一人一人の「返事」です。私たちが小学校を卒業するときの返事より、はるかに立派な、すばらしい返事を聞かせて下さったと思います。

最後の一つは、卒業式に参加していた卒業生を見ていて、私が感じたことです。それは、卒業生が今までにたどってきた「道」です。一年前東日本大震災という、未曾有の災害が起こりました。そして、それによる原発事故のために、思うように練習できずに、最後の中体連を迎えた人は少なくないはずです。その上、体育祭は中止、プールでの授業もほとんどないのに等しく、悔しく思った人が多いと思います。しかも、インフルエンザの大流行のために、一時は延期となった三年生を送る会も、結局は大幅な短縮となり、十分あるかないか程の短い会となって終わってしまいました。しかし、こんな逆境にもめげずに、前を向いて行健中を引っ張って下さいました。

これらの四つの点に、私は本当に感動しました。同時にふと思いました。「私たちは二年後、本当にこのようなすばらしい先輩になれるのか?」と。確かに、今すぐになれ、とは言われてはいません。しかし、二年間とはあっという間に過ぎて行くのだと、私は思います。だから、次の一年間を有意義に過ごし、今年の卒業生のように立派な先輩になれるように、成長していきたい。今回の卒業式を経験して、私はそう思いました。

原市長祝辞より

原市長が、祝辞の中で、日頃大切にしていることばを紹介しました。それは、「縁尋機妙 多逢聖因」という言葉です。縁尋機妙（えんじんきみょう）は、良い縁がさらによい縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある、多逢聖因（たほうしょういん）は、いい人に交わっていると良い結果に恵まれる。だから、まずいい人にあってゆくこと、そして、「氣」のいい場所に出向くこと、それがいい機会をうむ。毎日必ず、いい本を読むこと、一日不読、一食不食、よきものに出会い良縁を重ねましょう。ということです。次の日の全校集会においても、校長先生よりこのことばについての説明がありました。心にとめておきたいことばだと思います。



生徒発表

村越 くん

過去に例を見ない大震災から1年が過ぎ、昨日3年生の先輩方が卒業されました。私達2年生は、これから上級生として、行健中の誇りを背負って生活していく必要があります。そのために、今私達にできることを考えていきたいと思えます。

まず、「責任」です。これは何に対しても一人一人が責任を持って、行動することです。今年、僕は柔道部部長、学級委員長として皆をまとめる難しさを経験しました。その体験から継続することの大切さや改善しようと努力することの大切さを十分に感じることができました。全校生が自分の仕事に責任を持って取り組むことができれば、行健中がよりよい学校になると思います。

次に、「思いやり」です。4月から新生が入学し、とまどう事やわからない事があると思います。その時に上級生として、親切にしていきたいと考えています。みなさんも親切に接していきましょう。

卒業された3年生の先輩達が私達に親切に教えてくれた事や今まで築き上げてきた伝統を決してけがす事なく、又、新たな伝統を築き上げ、僕達が行健中を卒業するまでに、誇りに思えるような学校を創っていききたいと思います。さらに、後輩に尊敬してもらえるような先輩になりたいです。

4月から最高学年になることを考えて、まず自分に出来る事。それは、勉強や部活動など努力を惜しまず一歩一歩自分自身が成長していく事です。

文部科学省 リアルタイム線量測定結果

行健中学校 校庭（測定高さ 100cm）

3月16日(金) 9:30現在 0.212 $\mu\text{Sv/h}$